



2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月27日

東

上場会社名 株式会社シマノ

上場取引所

コード番号 7309

URL <https://www.shimano.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 泰三

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 金井 琢磨 (TEL) 072-223-3254

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	375,248	6.9	44,532	21.8	51,864	71.5	40,022	148.5
2025年12月期第3四半期	351,020	4.8	36,565	△27.8	30,248	△48.1	16,105	△61.0

(注) 包括利益 2026年12月期第3四半期 45,256百万円(246.8%) 2025年12月期第3四半期 13,050百万円(△80.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	469.12	—
2025年12月期第3四半期	183.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第3四半期	915,928	843,401	91.9
2025年12月期	938,250	869,501	92.5

(参考) 自己資本 2026年12月期第3四半期 841,845百万円 2025年12月期 868,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	169.50	—	169.50	339.00
2026年12月期	—	181.50	—		
2026年12月期(予想)				181.50	363.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	495,500	6.3	54,300	5.1	62,300	32.5	47,000	38.3	558.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年12月期 3 Q	86,530,000株	2025年12月期	86,530,000株
2026年12月期 3 Q	2,430,078株	2025年12月期	64,521株
2026年12月期 3 Q	85,312,514株	2025年12月期 3 Q	87,933,694株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におきましては、世界経済は、半導体やAI関連の設備投資拡大や堅調な雇用環境に支えられ、総じて底堅く推移しました。一方で、各国の通商・金融政策の動向に加え、中東情勢を背景としたエネルギー価格の上昇等から、景気の先行きは依然として不透明な状況が継続しました。

欧州では、物価上昇等の影響により個人消費は力強さを欠いたものの、雇用環境は底堅く推移し、景気は持ち直しの動きがみられました。

米国では、物価上昇や金利動向への警戒感がみられた一方、AI関連を中心とした設備投資の拡大や良好な雇用環境に支えられ、景気は底堅く推移しました。

中国では、不動産市場の低迷や雇用環境の弱さを背景に個人消費が伸び悩み、景気は引き続き弱含みで推移しました。

日本では、中東情勢や為替動向を背景とした物価上昇の影響がみられたものの、所得環境の改善に支えられて個人消費は底堅く推移し、景気は緩やかな回復基調を維持しました。

このような環境の下、自転車、釣具への関心は継続し、当第3四半期連結累計期間における売上高は375,248百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は44,532百万円（前年同期比21.8%増）となり、為替評価等により経常利益は51,864百万円（前年同期比71.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は40,022百万円（前年同期比148.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 自転車部品

長期的なトレンドとして自転車への高い関心が継続する中、世界的な物価上昇の影響がみられたものの、完成車の店頭販売は総じて底堅く推移し、市場在庫の調整は進展しました。

海外市場では、欧州市場において、完成車の店頭販売は堅調に推移し、主要市場であるドイツをはじめ、市場在庫の改善が進みました。

北米市場では、景気の先行き不透明感や関税の影響による完成車価格の高止まり等を背景に、完成車の店頭販売は引き続き低調に推移した一方で、市場在庫は適正水準を維持しました。

アジア・中南米市場においては、完成車の店頭販売に持ち直しの動きがみられた一方、市場在庫はやや高めの水準で推移しました。中国市場では、春先に堅調であった通勤・通学向けのマウンテンバイク等の店頭販売は悪天候の影響もあり弱含みで推移し、ロードバイクの需要は引き続き低調に推移したものの、やや高めの水準であった市場在庫の調整は進展しました。

日本市場においては、完成車価格の高止まりや物価上昇を背景に、店頭販売は引き続き弱含みで推移した一方で、市場在庫は適正水準を維持しました。

このような市況の下、刷新したマウンテンバイク向けコンポーネントの最高峰モデル「XTR」をはじめ、「DEORE XT」、「DEORE」の3シリーズや、自己発電で動作する自動変速機能を備えた「Q' AUTO」に対して引き続き高い評価をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は278,361百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は33,440百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

② 釣具

釣具への関心は引き続き底堅く、販売は堅調に推移し、市場在庫は総じて適正水準を維持しました。

日本市場では、天候不順や猛暑の影響は受けつつも、販売に持ち直しの動きがみられ、市場在庫の調整は進展しました。

海外市場においては、北米市場では、西海岸および東海岸の良好な釣況に支えられ、販売は堅調に推移し、市場在庫は適正水準を維持しました。

欧州市場では、総じて販売は堅調に推移した一方で、一部の地域で天候不順等の影響を受け、市場在庫はやや高めの水準で推移しました。

アジア市場では、中国市場において、台風の影響がみられたものの、高価格帯リールを中心に販売は底堅く推移し、市場在庫は概ね適正水準を維持しました。

豪州市場では、東海岸を中心とした良好な釣況により、販売は堅調に推移し、市場在庫は適正水準を維持しました。

このような市況の下、新製品のベイトリール「CALCUTTA CONQUEST BFS LIMITED」や新製品のスピニングリール「VANQUISH CE」に高い評価をいただくとともに、スピニングリール「STRADIC」等の製品に多くのご注文をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は96,572百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益は11,079百万円（前年同期比72.9%増）となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は314百万円（前年同期比8.2%減）、営業利益は11百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は915,928百万円（前連結会計年度比22,321百万円の減少）となりました。これは、建物及び構築物が27,677百万円、投資有価証券が9,993百万円それぞれ増加し、現金及び預金が45,555百万円、建設仮勘定が25,057百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は72,526百万円（前連結会計年度比3,778百万円の増加）となりました。これは、流動負債のその他が4,366百万円、買掛金が2,680百万円それぞれ増加し、未払法人税等が3,997百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は843,401百万円（前連結会計年度比26,100百万円の減少）となりました。これは、利益剰余金が9,940百万円増加し、自己株式の取得により41,347百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、欧州や中国等の市場在庫調整の進展に伴う需要の増加が見られること、並びに主にアジア通貨安の為替影響等に伴う利益の改善等を踏まえ、売上高及び営業利益の予想を次のとおりといたします。また、当第3四半期連結会計期間において、為替評価損等の営業外費用が増加したこと等を踏まえ、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の予想についても、次のとおり変更いたします。

2026年12月期 通期連結業績予想数値の変更（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	491,000	47,000	56,000	43,000	505.94
今回修正予想 (B)	495,500	54,300	62,300	47,000	558.86
増減額 (B-A)	4,500	7,300	6,300	4,000	
増減率 (%)	0.9	15.5	11.3	9.3	
前期実績 (2025年12月期)	466,243	51,677	47,029	33,991	388.17

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	477,324	431,769
受取手形及び売掛金	38,460	42,465
商品及び製品	83,669	85,852
仕掛品	40,999	42,893
原材料及び貯蔵品	7,328	7,912
その他	18,837	17,198
貸倒引当金	△501	△510
流動資産合計	666,119	627,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	97,623	125,300
機械装置及び運搬具（純額）	31,587	33,092
土地	15,815	16,936
リース資産（純額）	6,040	5,713
建設仮勘定	43,940	18,882
その他（純額）	6,133	6,827
有形固定資産合計	201,141	206,754
無形固定資産		
のれん	1,455	1,175
ソフトウェア	18,091	15,149
その他	9,775	15,096
無形固定資産合計	29,323	31,421
投資その他の資産		
投資有価証券	29,348	39,341
繰延税金資産	4,618	3,453
退職給付に係る資産	5,550	5,405
その他	2,627	2,480
貸倒引当金	△478	△510
投資その他の資産合計	41,665	50,170
固定資産合計	272,130	288,346
資産合計	938,250	915,928

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,774	19,455
未払法人税等	9,161	5,164
賞与引当金	3,479	4,742
役員賞与引当金	144	123
製品保証引当金	3,317	1,214
その他	26,039	30,406
流動負債合計	58,917	61,107
固定負債		
繰延税金負債	2,449	4,718
退職給付に係る負債	1,473	1,480
製品保証引当金	2,555	1,985
その他	3,352	3,234
固定負債合計	9,830	11,419
負債合計	68,748	72,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,324	5,325
利益剰余金	630,717	640,657
自己株式	△1,100	△42,448
株主資本合計	670,554	639,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,144	13,187
為替換算調整勘定	187,557	189,510
その他の包括利益累計額合計	197,702	202,697
非支配株主持分	1,245	1,555
純資産合計	869,501	843,401
負債純資産合計	938,250	915,928

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
売上高	351,020	375,248
売上原価	226,221	240,580
売上総利益	124,799	134,667
販売費及び一般管理費	88,233	90,135
営業利益	36,565	44,532
営業外収益		
受取利息	12,854	9,467
受取配当金	723	578
その他	961	1,156
営業外収益合計	14,539	11,202
営業外費用		
支払利息	79	83
為替差損	18,387	1,710
その他	2,389	2,075
営業外費用合計	20,856	3,869
経常利益	30,248	51,864
特別利益		
投資有価証券売却益	-	※1 3,143
特別利益合計	-	3,143
特別損失		
工場建替関連費用	141	1,106
特別損失合計	141	1,106
税金等調整前四半期純利益	30,107	53,901
法人税、住民税及び事業税	14,076	12,711
法人税等調整額	△174	914
法人税等合計	13,902	13,626
四半期純利益	16,204	40,275
非支配株主に帰属する四半期純利益	98	253
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,105	40,022

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
四半期純利益	16,204	40,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,826	3,042
為替換算調整勘定	△5,980	1,938
その他の包括利益合計	△3,153	4,981
四半期包括利益	13,050	45,256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,961	45,017
非支配株主に係る四半期包括利益	89	239

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2026年2月10日開催の取締役会決議に基づき、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)を含む市場買付けにより、2026年2月12日から2026年9月30日までに普通株式2,368,900株を取得しました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加も含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が41,410百万円増加しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 投資有価証券売却益

当第3四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)

当社グループが保有する投資有価証券の一部(上場株式2銘柄)を売却したことにより発生したものであります。

2 (「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」の適用)

当社グループは、「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号 2024年3月22日)第7項を適用し、当第3四半期連結累計期間を含む対象会計年度に関する国際最低課税額に対する法人税等を計上しておりません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
一時点で移転される財	266,243	84,435	342	351,020	—	351,020
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	266,243	84,435	342	351,020	—	351,020
外部顧客への売上高	266,243	84,435	342	351,020	—	351,020
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	266,243	84,435	342	351,020	—	351,020
セグメント利益又は損失(△)	30,161	6,409	△6	36,565	—	36,565

(注) 1 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 売上高には、顧客との契約から生じる収益とそれ以外の収益を含めておりますが、そのほとんどが顧客との契約から生じる収益であり、その他の収益に重要性はないため、区分表示しておりません。

当第3四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
一時点で移転される財	278,361	96,572	314	375,248	—	375,248
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	278,361	96,572	314	375,248	—	375,248
外部顧客への売上高	278,361	96,572	314	375,248	—	375,248
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	278,361	96,572	314	375,248	—	375,248
セグメント利益又は損失(△)	33,440	11,079	11	44,532	—	44,532

(注) 1 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 売上高には、顧客との契約から生じる収益とそれ以外の収益を含めておりますが、そのほとんどが顧客との契約から生じる収益であり、その他の収益に重要性はないため、区分表示しておりません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
減価償却費	19,742百万円	20,808百万円